

埼玉協同病院 年報 2018 年 VOL.31 (通巻第 33 号)

目 次

巻頭言	7
-----------	---

I. 概要

1. 概要	10
2. 理念	11
3. 目標	12
4. 2018 年度活動報告・主要行事	14
5. 組織図	21
6. 委員会等組織図	22
7. 施設基準	23
8. 教育研修指定関係	25
9. 院内研修会・講演会	26
10. 2018 年度初期研修医の状況	32

II. 委員会等活動状況

2018 年度委員会体制	36
外来診療委員会	39
病棟診療委員会	40
救急診療委員会	41
がん診療委員会	42
クオリティマネジメントセンター	43
総合サポートセンター	45
H P H 推進センター	46
教育研修センター運営委員会	47
医療安全委員会	48
感染対策委員会	50
感染対策チーム (I C T)	51
抗菌薬適正使用支援チーム (A S T)	52
労働安全衛生委員会	53
防災対策委員会	54
栄養管理委員会	55
医療ガス管理委員会	56
臨床検査適正化委員会	57
輸血療法委員会	58

省エネ推進事務局会議	59
臨床研修管理委員会	60
適切なコーディング委員会	61
透析機器安全管理委員会	61
MS (マネジメントシステム) 事務局	62
保育運営協議会	63
経営委員会	64
病院利用委員会	65
地域活動委員会/地域活動推進委員会	66
SHJ 委員会/SHJ 推進委員会	67
広報委員会	68
医療材料検討委員会	69
初期研修委員会	70
医学生委員会	71
看護学生委員会	72
倫理委員会	73
SP (模擬患者) の会担当者会議	74
薬事委員会	75
クリパス委員会	76
電子カルテ委員会	77
研究倫理審査委員会	78
がん化学療法チーム	78
褥瘡チーム	79
緩和ケアチーム	80
栄養サポートチーム (NST)	81
乳腺科医療チーム	82
循環器医療チーム	83
糖尿病医療チーム	84
呼吸器医療チーム	86
消化器内科医療チーム	87
子育て支援チーム	88
禁煙チーム	89
認知症ケアチーム	89
精神科リエゾンチーム	90
遺伝子検査検討チーム	91

Ⅲ. 医療経営統計

1. 医療経営統計	94
2. 医療の質の改善	
(1) 医療の質改善の指標 領域一覧 (2018 年版)	96
(2) 基礎情報	97
(3) 医療指標 2018 年 測定値	98
3. 退院患者統計	
(1) 年代別・性別退院患者数	119
(2) 診療科別患者数および構成比率、平均年齢、在院日数の平均	120
(3) 疾病分類 (中間分類) 別患者数	121
(4) D P C 6 桁別件数上位 50 傷病名	128
(5) 退院患者の主な手術 (診療科別)	129
(6) 退院患者の主な処置	140
(7) 死因統計 大分類別件数、原死因 I C D 別患者数	143
4. 外来患者統計	146
5. 紹介患者統計	148
6. 救急患者統計	151
7. がん登録統計	153
8. 病理年報	155
9. 2018 年細菌薬剤感受性検査統計・分離菌検出状況	160
(1) 薬剤感受性統計リスト (外来・入院別)	161
(2) 抗酸菌分離状況	165
(3) 検査集計	165
10. 薬剤科・副作用報告	166

Ⅳ. 診療科活動状況

総合内科	忍 哲也科長	170
循環器内科	金子 史科長	173
呼吸器内科	原澤慶次科長	175
消化器内科	忍 哲也内科部長	177
小児科	荒熊智宏科長	180
外科	栗原唯生医長	183
乳腺外科	金子しおり科長	186
整形外科	仁平高太郎部長	188
脳神経外科	石丸純夫部長	192
産婦人科	芳賀厚子副部長	193
泌尿器科		197

皮膚科	伊藤理恵部長	198
眼科	太根伸浩部長	200
耳鼻咽喉頭科	越智 篤部長	202
精神科	荻野マリエ医長	204
病理診断科	石津英喜部長	206
糖尿病内科	村上哲雄科長	207
麻酔科	西川 毅手術室長	209
放射線科	吉田英夫部長	(P.241)
臨床検査科		(P.240)

V. 部門の活動状況

医療安全管理室	212
医療情報管理室	212
経営企画室	214
看護部	215
看護育成課	218
外来看護科Ⅰ	219
外来看護科Ⅱ	220
透析看護科	222
C 2 病棟看護科	223
C 3 病棟 (産婦人科) 看護科	224
C 3 病棟 (小児科) 看護科	226
C 4 病棟看護科	227
C 5 病棟看護科	228
D 2 病棟看護科	229
D 3 病棟看護科	230
D 4 病棟・HCU看護科	231
D 5 病棟看護科	232
手術室看護科	233
看護サポート科	235
薬剤科	236
検査科	240
放射線科・放射線画像診断科	241
リハビリテーション技術科	243
食養科	244
ME 科	245
環境管理課	247
医局事務課	247

教育研修室	248
入院医事課	249
外来医事課	250
システム管理課	252
医師アシスト課	253
健康管理課	254
資材課	255
組合員活動課	256
総務課	257
つくし保育所	258
地域連携看護科	(P.45)
医療社会事業課	(P.45)
地域連携課	(P.45)

VI. 研究業績

1. 学会発表	261
2. 講演会	266
3. 著書	268
4. 論文	268
研究業績一覧	273
1. Akihiko Tamura, Mitsuhiro Funakoshi, Naw Awn J-P, Kichinori Hasegawa, Atsushi Ishimine, Akio Koike, Noriyuki Tannai, Masami Fujii, Makoto Hattori, Harukazu Hirano, Kenji Nakamura I, Masanobu Funakoshi, Kazuhiko Satomi, Yoshihito Yamashita, Yasuma Fukuchi and Narufumi Suganuma “Potential asbestos exposure among patients with primary lung cancer in Japan” ...	273
2. Jeff Kirk Svane, Shu-Ti Chiou, Oliver Groene, Milena Kalvachova, Mirna Zagajski Brkic, Isao Fukuba, Tiiu Harm, Jerneja Farkas, Yen Ang, Mikkel Osterheden Andersen and Hanne Tonnesen “A WHO-HPH operational program versus usual routines for implementing clinical health promotion: an RCT in health promoting hospitals (HPH)”	283
3. Motofumi Tosa, Masako Aihara and Junko Murakami “Extended-spectrum Beta-lactamase-producing Escherichia coli Meningitis That Developed from Otitis Media with Cholesteatoma”	296

4. Tadao Tsuji1, Nyuhzuki S, Son K, Sugiyama A, Amano Y1, S Mano, T Shinobi, Tanaka H, Kubochi M, Ono M, Masuda T, ShinozakiH,Kaneda H, Katsura H, Mizutani T, Miura K, Katoh M, Yamafuji K, Takeshima K, Okamoto N, Hoshino Y, Tsurumi N, HisadaS, Won J, Kogiso T, Yatsuji K, Iimura M and Kakimoto T “Usefulness and safety of Endoscopic Pancreatic Duct Balloon Dilation (EPDBD) for treatment of pancreatic diseases- pancreatic stone, divisum and pseudocyst”	302
5. 忍 哲也 「当院で経験した発症 3 ヶ月以内に抗菌薬投与のない Clostridium difficile 感染症の 2 例」	311
6. 増田 剛、小野未来代 「妊婦に対する消化器内視鏡診療」	315
7. 金子しおり 「特集 総合診療医のための Specialist Drug 40 この薬だけは押さえておきたい！ 〔専門医から「日常的なフォローアップをお願いします」となりやすい疾患群の薬〕 1) ノルバデックス® (タモキシフェン) 2) アリミデックス® (アナストロゾール)」	321
8. 李 冬平、芳賀厚子、伊藤浄樹、榎本明美、市川清美 「分娩後雷鳴様頭痛を発症し、可逆性脳血管攣縮症候群 (reversible cerebral vasoconstriction syndrome) と診断された 1 例」	323
9. 野田邦子、平嶋久美子、大津由季、伊藤由美 「医療記録の質向上を目指した患者による医療記録監査の試み —患者閲覧用電子カルテを用いて—」	330
10. 小池昭夫 「じん肺・アスベスト外来のとりくみ」	337
埼玉協同病院年報 掲載基準・論文投稿規程	339
編集後記 (埼玉協同病院年報編集委員会)	340

2018 年 年報 巻頭言



院長 増田 剛

「年報」にリニューアルしてから7色目になる年報2018（通算VOL. 31）が完成しました。虹の七色とはいかないまでも美しい7色が本棚に並ぶ姿はとても良いものでしょう。

2018年（～2018年度）は埼玉協同病院にとって満40歳のメモリアルイヤーでした。私を含めて開院当時のことを殆ど知らない世代が中心になった現在、あらためて、本院が開院した意味と意義を振り返ることは、現在の私たちにとって大変重要なことだと判断し、メモリアルイベントに取り組みました。定期の機関紙誌では度々話題に取り上げて、当時を知る先輩達にも多数登場願いました。記念誌を発行し、関係各方面に配布させていただきました。10年ぶりに開催した健康まつり（11／3）には約3,500人の医療生協組合員・職員が集い、40歳を祝うとともに、これからの協同病院の発展を願い、決意と期待を交流し合いました。自明のことですが、本院は地域で生まれ、地域に育てられた病院です。当日参加した地域の皆様の嬉しそうな顔をみて、大変誇らしく感じたのは私だけではないと思います。

11月29日には、川口駅前ホールで記念式典を兼ねた第35回地域医療懇談会を開催しました。川口市三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）の会長先生、行政機関を含め、58施設から計105人の方々にご参加いただきました。川口市医師会長をはじめ、二次医療圏内の基幹病院の管理医師の先生方から祝いのご挨拶をいただきました。普段から様々ご援助いただいている多くの開業医の先生方からは本当に心のこもった激励の言葉をかけていただきました。最も古くから親密にお付き合いいただいている東浦和駅前の開業医の先生からは見事な胡蝶蘭を頂戴しました。どの先生もどの施設も、私たちにとっては貴重な仲間であり、地域医療をまもる同志だと感じています。本院が40年たって、この地にしっかり根差して存在し続けていることの喜びを心から感じた瞬間でした。

40年前に田畑の真ん中に忽然と現れた本院は、まさに得体の知れない集団に見えたことでしょう。もともとは診療所をベースに大きくなった私たち民医連・医療生協が、医師研修も出来るような病院を創るという大それた計画を持ち、経験したことのない大事業に挑戦したのです。その背景には大きく二つの願いがあったと思います。一つは医学医療の進歩と国民の医療要求の高まりの中で、医療生協組合員がより高度で複雑な医療を受けられるような施設を求めたということです。胃がんになっても脳卒中になっても医療生協の施設で治療を受けたいという願いです。二つ目は、人口あたりの医師数が日本一少ないこの埼玉県において、医師をはじめとした医療従事者を育てられるような病院をつくり、医療生協運動の後継者を育成するという願いです。

そうした願いに応えるために、職員・組合員は懸命に努力しました。74床で始まり、がむしゃらに頑張り続け、

規模を拡大し診療水準の向上に必死に取り組み、気がついたら 401 床の総合病院・研修病院に成長していました。現在では、パート職員を含めて 1,000 人を超える従業員を擁し、4,000 台を超える救急車を受け入れられる急性期病院となりました。初期研修医採用については定員を大きく超える受験者を得て、フルマッチが続いています。

その間に、臨床研修病院の指定 (1994 年)、病院機能評価の認証 5 回 (1998 → 2018 年)、卒後臨床研修評価の認証 3 回 (2010 → 2018 年)、ISO9001・14001 の認証 (2002 年)、D P C 対象病院 (2004 年)、H P H 国際ネットワークへの参加 (2013 年)、埼玉県がん診療指定病院 (2015 年) などの整備を進め、各種学会の専門医教育においても 30 を超える施設認定を取得するに至っています。

地域の医療・介護・福祉関係者との連携も大きく発展しました。開院当初は病院としての地域連携の作法に習熟しておらず、組織を大きくして、しっかりとした基盤と実績を作ること必死になっていたが故に、もしかしたら、周りの同業者たちの眼差しに気づかずに、やや適切さを欠いた対応をしていた時期があったかも知れません。

1996 年から地域連携懇談会を開始し、地域のクリニックや介護施設の皆様からの率直な意見を聴く場を設けました。数人の参加で車座になって、ざっくばらんな語らいから始まったこの会は、年々発展し、近年は 100 人を超すような催しになりました。また、地域連携は疾患別、業種別にも大きく発展し、いまや顔の見える連携と呼ぶに相応しい内容で広がっています。当院の職員が様々な分野でその事務局の一端を担う場面も増えており、地域包括ケア時代の新しい連携構築のために働かせていただけるような関係が生まれています。

はじめは「異端児？」だった（かも知れない）私たちが、真面目に地道に地域医療に取り組む中で、地域との信頼が深まり、多くの叱咤激励を頂戴し、今では「仲間」として、地域医療・介護の発展のために努力出来る関係を築かせていただけたと感謝しています。

医療や介護をめぐる情勢は引き続き厳しい状況にあります。経済的理由によって発生する健康格差に対しては毅然と対応することが私たちの社会的使命だと思っています。患者の権利をしっかりとまもることと、病気になっても患者になれない人を誰一人置き去りにしないことが私たちのアイデンティティであり、それこそが、地域が埼玉協同病院に期待する最大の役割だと認識しています。40 年間、地域からいただいた様々な恩に報いるために、その役割をしっかりと自覚して、地域医療・介護の発展に全力で取り組んでいく決意を表明して巻頭言と致します。

I. 概要

1. 概要

埼玉協同病院の概要

- ◇病床数 一般病床 401 床
(ハイケアユニット 4 床、緩和ケア病床 24 床、回復期リハビリテーション 50 床を含む)
- ◇医師数 73 名 (常勤)
- ◇標榜科 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、リウマチ科、臨床検査科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、救急科、泌尿器科 (人工透析)、緩和ケア外科
- ◇専門外来 甲状腺、被爆、禁煙、在宅医療
- ◇1 日平均外来患者数 961 人
- ◇1 日平均入院患者数 291 人
- ◇指導医数 47 名
- ◇研修医数 14 名 (2018 年 12 月現在)

◆これまでのあゆみ

当院は 1978 年の開院以来、地域住民・組合員の皆様と力を合わせて、一貫して無差別・平等の医療・介護を追求し、より良き社会保障制度の確立に努力してきました。その実践として、当院は開院以来「差額ベッド代無し」を継続しております。加えて、2016 年には埼玉県より無料低額診療事業の認定を受けました。

当院は、地域医療に貢献すべく順次、医療機能の向上に努めてまいりました。1988 年に埼玉県より二次救急指定病院の認定を受け、1998 年に日本医療機能評価機構認定基準「一般病院種別 B」の認定を受けました。2004 年より包括医療費支払い制度 (D P C) に参加するとともに、2013 年には緩和ケア病棟 (24 床) を開設し、2015 年にはがん診療指定病院の認定を受けることができました。2017 年 1 月には産婦人科開設以来の分娩数 25,000 件に到達しています。

2016 年 3 月 WHO-H P H の認定プロジェクトでゴールドレベルの評価を頂きました。

当院の使命として、地域の医療活動を担う医師をはじめとした職員の育成に積極的に取り組んできました。1994 年に厚生労働省より臨床研修指定病院 (基幹型) の認定を受けました。2002 年には I S O 9001 を取得し組織管理運営に品質マネジメントシステムの活用を開始しました。

今後も引き続き、住民・組合員と一体となり、医師会や近隣の医療機関・介護施設とも力を合わせて、個人の尊厳が守られるように地域医療の発展のために尽力してまいります。

2. 理念

人権をまもり、健康な暮らしに役立つ医療を、地域とともにつくります。

理念に基づく行動

◆医療が保障される社会づくり

- ☐ 個人が尊重され、社会的不平等のない医療・福祉制度の実現をめざします。
- ☐ 最大の環境破壊である戦争に反対し、平和と環境をまもります。

◆私たちの医療の目的と姿勢

- ☐ すべての人々が、健康に生き、尊厳をもって療養できるよう支援します。
- ☐ 利用者によりそい、自律を育み、安全・安心で最適な医療・介護を行います。

◆医療従事者としての成長

- ☐ 科学的視点と高い倫理観をもち、医学の成果と社会の進歩に学びます。
- ☐ 地域のなかで、育ちあう喜びとやりがいを感じられる職員に成長します。

埼玉協同病院職員の倫理指針

1. 私たち職員は、平和を希求し、生命を尊びます。
2. 私たち職員は、あらゆる差別を排し、分けへだてなく、
一人ひとりの患者さまにとって最善の医療が提供できるよう努力します。
3. 私たち職員は、個人情報大切に扱います。知りえた個人情報を決して漏らしません。
4. 私たち職員は、科学の成果に学び、安全で質の高い医療サービス実現のために、協力しあいます。
5. 私たち職員は、常に専門職能を高め研鑽し、自らの職務・使命を誠実に果たします。
6. 私たち職員は、関連諸法規、就業規則等をよく学び、遵守します。不正を働かず、不正を見逃さず、不正を排除します。
7. 私たち職員は、以下の諸文書を常に学び、日々の業務・行動に生かすようつとめます。
 - ①私たちの医療理念（埼玉協同病院）
 - ②基本理念・品質方針・環境方針（医療生協さいたま）
 - ③医療生協の「患者の権利章典」（医療部会）
 - ④全日本民医連綱領（全日本民医連）
 - ⑤日本国憲法

3. 目標

2018 年度事業所スコアカード

	戦略目標	2018 年度重要成功要因	評価指標
強い医療生協を作る視点 (F)	新病院建設を可能にする収支構造へ転換する。	必要剰余を確保する。	事業収益 収益率 経常利益 (剰余) 人件費比率 労働生産性 病床稼働率 (一般・緩和・回リハ) DPC (I) (II) 期間での退院患者割合 重症度・医療看護必要度 入院件数 救急搬入件数・搬入率・入院件数
利用者の要望の視点 (C)	高齢者をはじめ多世代の地域住民が支援を受け、より充実した (健康な) 生活を送る事が出来る。	地域住民の医療ニーズに対応した、身体的にも、社会的にもより健康に暮らすための医療や生活支援が受けられる。	がん治療目的の紹介患者数 がん確定後、治療目的で転院した患者数 生活に役に立つ情報を得られた満足度 地域活動につなげた人数 市民向けの懇談会・学習会の開催数・満足度 社会的リスクのある妊産婦の支援継続件数／卒業件数 精神科リエゾンの介入症例件数 経済的困難に対する相談件数 無料低額診療相談数／制度適応数
確かな仕事づくりの視点 (P)	4 つのセンターの活動を発展させ、標準的で質の高い医療サービスを提供する。	医療の質向上のため、多職種が一丸となってチーム医療を活性化させ、日常診療をすすめる。	紹介率／逆紹介率 予定外の再入院率 認知症患者の抑制率 (拘束しない取り組み) クリニカルパスを活用した医療の標準化への取り組み 入退院支援加算・退院時共同指導料・介護支援連携指導料件数 カンファレンス記録の充実 技術部 (食・薬・リハ) の早期介入日数 フレイル対応
育ちあいの視点 (E)	救急診療・がん診療を中心に、多くの職員が総合力と専門力量を高め、医療チームとして機能する職員集団をつくる。	埼玉協同病院の創立 40 周年の歴史をふりかえり、地域に必要な医療従事者としての教育を積極的に行う。	退職者数 (毎月)・率 (年度) (職種別) 職員満足度アンケート「働いてよかった」 救急医療に関する学習会の参加者数・理解度 業務改善・問題解決力を高めるための学習会 職種間コミュニケーション向上のための学習会開催 リニューアルに向けた職員討議回数
社会貢献の視点	予期せぬ災害に備え、地域で頼りになる災害拠点病院の指定取得を目指す。	災害に対する備えを強め、施設整備・訓練の強化をする。	緊急対応訓練に参加した職員数 地域事業所の医療従事者向けの学習会開催数・満足度

ミッション	人を人として尊重し、地域包括ケア時代に輝く急性期病院になる ～病院のリニューアルを成功させる（準備する）～
ビジョン	①救急医療・がん医療を軸に急性期病院としての医療機能と質を高める。 ②総合性と専門性を備えた医療専門職が集い、育つ病院となる。 ③ヘルスリテラシーを高める活動とともに、健康の社会的決定要因（SDH）の視点を日常診療にいかした生活支援を行う。 ④4つのセンターを中心に、各医療チームの活動が発展する組織運営を行う。

評価指標の定義と算出部門	2017 年度現状値	2018 年度目標値
経営月報（経営企画室） 経営月報（経営企画室） 経営月報（経営企画室） 経営月報（経営企画室） 本部経営支援課 資料 経営月報（経営企画室） 病棟診療委員会報告 経営月報（経営企画室） 経営月報（経営企画室） 経営月報（経営企画室）	年間 96 億円 1%以下 △47,000 千円 61.20% 一人当たり付加価値額 70%以上 27%以上	年間 98 億円 3.80% 370,000 千円 60% 以下 一人当たり付加価値額 80%以上 72% 以上 30%以上 (一般730件、回リハ・緩和20件)
患者満足度アンケート（10月） C3病棟のカウント リエゾンチーム報告書 総合サポートセンター月報 総合サポートセンター月報		
地域連携課月報 病棟診療委員会報告書 認知症ケアチーム報告書 クリパス委員会報告書 総合サポートセンター月報 診療情報室	44%/21% 48.00%	45%/25%以上 1.4%以下 30%以下
QM センターでの 12 月調査 教育担当者の育成		3 以下が 10% 以下 12 回以上

4. 2018 年度活動報告・主要行事

(1) 埼玉協同病院は、開院 40 周年を迎えました。

11 月 3 日、開院 40 周年記念の健康まつりを 10 年ぶりに病院を会場に開催し、3,500 人の参加者がありました。10 団体が演じたステージ、模擬店 24 店、フリーマーケット 25 店、健康づくりコーナーでは 300 人が健康チェックをしました。隣接のみぬま広場では「いのちのお話」と憲法カフェが催され、レストラン虹の森ではミニステージ、病院内では「わくわく体験」「なんでも相談」「記念講演」「歯科活動交流会」が行われました。つくし保育所でのミニフリーマーケットや子どもコーナーも賑わいました。

また、11 月 29 日に開催した 35 回目となる地域医療懇談会には、58 医療機関（行政機関含む）からこれまでで最多の 105 名の参加がありました。今回は開院 40 周年を記念して駅前のフレンジアに会場を移し、来賓の川口市医師会鹿嶋会長、川口市立医療センター病院の大塚事業管理者よりご挨拶をいただきました。また、懇親会では戸田中央総合病院の原田院長、済生会川口総合病院の松井副院長からご挨拶をいただきました。

40 周年を記念して各種の市民公開講座を年間を通じて開催しました。認知症、気管支喘息や脂肪肝などの疾患別のテーマでは、医師だけでなく、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、保健師、社会福祉士等からそれぞれの専門分野に関して地域住民向けにお話をしました。また、「子育て市民公開講座」をイオンモール川口前川店サイボーホールで開催し 111 名が参加しました。小児科医師のお話の後、参加者はスキンケアコーナー、歯磨きコーナー、食事相談コーナー、遊びコーナー、子育てサークルコーナーに参加しました。

9 月 27 日から 29 日の 3 日間、市営道合神戸住宅（397 戸）、県営川口道合住宅（63 戸）を対象に、

見沼町会白盛会（老人会）との共催で「お元気ですか訪問（全戸訪問）」「なんでも相談会」に取り組みました。協力団体として神根地域包括支援センター・神根保健ステーション、鹿島診療所、添田医院、川口さくら病院に後方支援をしていただきました。参加者延べ 139 名で、訪問件数 368 件、対話件数 229 件でした。初日には、川口さくら病院から相談員 3 名が参加していただきました。

節目となった今年度、埼玉県に「病院整備計画」を申請しました。埼玉協同病院のリニューアルにあわせて、これからの地域包括ケア時代に地域医療、とりわけ在宅支援の機能を拡充するために地域包括ケア病床を有する「在宅療養支援病院」を新たに開設する計画です。

医療生協組合員の地域支部ごとに開催された医療懇談会では、埼玉協同病院 40 周年の歩みの DVD とリニューアル構想のリーフレットを紹介しました。

(2) 関節治療センターをオープンしました。

4 月に開設した『関節治療センター』では、新たな治療法として「脂肪由来幹細胞移植」、「AP S（自己タンパク質溶液）療法」の再生医療をスタートしました。すでに、多くの方に受診いただいています。また、6 月 30 日には「中年期以降の膝・股関節痛について」の市民公開講座を開催しました。会場のイオンモール川口前川店サイボーホールには、用意した座席を上回り、昨年を大きく超える 600 名が参加しました。

(3) 春の新規入職者の受け入れと新入看護職員の研修の特徴

4 月 2 日の法人全体の新入職員の入職式に引き続き 2 日間の入職時研修を行いました。埼玉協

同病院には4月4日から60名の新入職員が配属になりました。内訳は、初期研修医師7名、薬剤師2名、保健師2名、助産師3名、看護師29名、診療放射線技師2名、臨床検査技師2名、臨床工学技士1名、理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、社会福祉士2名、事務総合職3名です。また、既卒の医師3名（耳鼻咽喉科1名、眼科1名、整形外科1名）を迎えることができました。4月4日には、食養科による新入職員歓迎企画「調理&食事会」を開催し、一人暮らしで簡単に作れるレシピを紹介し、実際に調理をしました。

昨年度に続き新入看護職員は、入職時オリエンテーション、技術トレーニングに続いて、10グループに分かれて看護職場を順番に2日間ずつ体験就労してから職場に配属されました。5月には、新入の看護職員（32名）・看護奨学生（21名）と患者会（23名）との交流会を行いました。交流会では、患者会員より闘病生活や病院・看護師との出会い等について語っていただきました。1月、2月と他部門研修に取り組みました。他職種の仕事を体験することを通して理解し、自分の仕事にどのように連携していくかを考える研修です。そして、2月には新入看護職員のシミュレーション研修を実施しました。夜間の病室を想定して複数患者の状態を把握し、各患者の状態に応じた巡視時の観察と対応について体験しながら学びました。

（4）未来の医療従事者を育てる取り組み

7月には公立高校の医療セミナーに医師、看護師、理学療法士、放射線技師が参加して医療の仕事と職種の役割について、高校生の質問に答える形でお話をしました。

夏休み中には計11回の高校生の看護体験を行いました。男子生徒限定の日も設けました。参加者は延べ326名となりました。県民の日や春休みにも企画されています。薬剤師体験には13名の高校生を受け入れました。

模擬面接会には、看護師志望者が108名参加し、

医師志望者が18名参加しました。

学生向けの企画も各種取り組まれました。10月には、多職種の連携（IPW）を学ぶ学生実習を受け入れました。3日間、チーム活動に取り組み、最終日に発表をしてまとめとなりました。事務総合職のインターンシップには計11名が参加しています。

11月の川口北中学校の職場体験「夢ワーク」では、4名の中学1年生が見学に訪れました。

（5）学習する機会を創る

国立病院機構東京医療センター総合内科の片山充哉医師には今年度3回もお越しいただき、内科病棟回診とカンファレンスを開催しました。研修医を中心にベッドサイドでの身体診察について実践的に学ぶとともに、ワークショップ形式のカンファレンスでレクチャーを受けました。

看護部としては、「管理者のためのカウンセリング活用術」と題するメンタルヘルス学習会や、藤沢市教育文化センター主任研究員の目黒悟氏を講師にお招きした新入職員を受け入れる担当者向けの学習会を開催してきました。また、今年度は特に看護部副主任研修会を2回、中堅ベテラン研修を開催しました。

さらに、故日野原重明医師が創立されたライフ・プランニング・センターの健康教育センター副所長をされている福井みどり氏をお招きしてSP（模擬患者）の学習会を開催しました。

県看護協会の依頼を受けた「再就業技術講習会」を開催し4名が参加したり、県立大学から緩和ケア認定看護師コース3名の実習を受け入れるなど、病院外からも研修を受け入れました。また、県立川口北高校に着任した新任教員の研修を受け入れました。

（6）災害拠点病院に準ずる取り組み

～災害支援と対策

西日本豪雨災害の被災者支援の一環で、全国団

体の要請に応じて9月3日から5日にかけて、岡山の水島協同病院に松原浩太医師が救急医療支援に入りました。埼玉協同病院からは医師以外に8月、リハビリスタッフ4名、事務4名が広島の上砂災害の復旧支援に参加しました。9月20日に、西日本豪雨災害被災者支援報告会が行われ、派遣された8名から当地の状況や支援の取り組み、暑さとの闘いについて報告を受けました。

今年度も、前期・後期に分けて総合防災訓練を実施しました。前期は、夜間に大規模地震があり火災が発生したと想定して、初期消火、避難誘導訓練などを行いました。後期では、日中に地震、火災が発生した想定で、報告、消火、避難誘導訓練を実施しました。今回は事前に各部門で初動対応のアクションカードを作成し、訓練の時に試用しました。神根分署の消防隊員から講評をいただきました。

また、2月にはトリアージ訓練を86名の参加で実施しました。限られた人的物的資源で最大多数の傷病者に最善の医療を施すため、患者の緊急度と重症度により治療優先度を決める訓練として、災害時や多重事故など多数の傷病者が発生したと想定して行いました。

東日本大震災による福島原発事故の影響から、双葉町から委託された甲状腺エコー健診を今年度も加須市において実施し44名が受診されました。

(7) H P H (Health Promoting Hospitals and Health Services) の取り組み

WHO (世界保健機関) が呼びかけている世界保健デー (4月) と世界禁煙デー (5月) に、川口市内のショッピングセンターを会場に、川口市の後援を受け実施しました。4月の世界保健デーでは210名が健康チェックなどに参加しました。5月の世界禁煙デーでは、190名の方にスモーカーライザーや骨密度、体組成などの健康チェック、看護師による健康相談を行いました。両日とも、市の国民健康保険課と保健センターの職員が参加

され、がん検診や特定健診の案内や健康相談を行いました。

今年度の特徴は、フレイルサポーター養成講座を連続して開催し、合計67名の職員が修了後、地域のフレイルチェックに参加していることです。9月には町会の協力も得て、神根地区5支部合同フレイル予防教室があり、50名が参加しました。当院からはフレイル予防サポーターである保健師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士がインストラクターとして参加しました。

8月の駅前健康相談会にはこれまでで最多の33件の相談が寄せられました。医師16名など36名の職員で取り組みました。10月にSDHカンファレンスを開催しました。SDH (Social Determinants of Health) とは、「健康の社会的決定要因」と訳されます。健康を阻害する要因を分析し、健康格差や貧困、社会的不利益に影響を受ける人々の問題を解決するアプローチを検討するものです。11月には世界糖尿病デー (11 / 14) に合わせて外来の「健康らいぶらり」エリアで糖尿病イベント「血糖ってなあに？」を3日間開催しました。血糖測定や血圧測定、口腔チェック、健康相談のブースを設け、延べ228名の参加がありました。糖尿病患者会の役員の方々の協力をいただきました。

12月には「外国人の医療対応について」をテーマに公開倫理委員会を開催しました。NPO法人難民支援協会の鶴木由美子氏にご参加いただき、外国人が医療機関にかかる際に抱えがちな問題を共有したうえで、診療現場の困りごとを出し合い、病院としてどうあるべきかを検討しました。2016年から始まった外国人無料医療相談会に今年も取り組みました。受診者は、71名 (男37名、女34名) で出身国は15ヵ国でした。健康診断と併せて取り組まれた弁護士と社会福祉士による相談会には21件の相談がありました。集まったボランティアは、98名 (医師4名、看護師10名、通訳28名、一般35名、弁護士2名他) でした。

(8) 認知症対応力を育て、倫理観を磨く取り組み

高齢者の増加に伴って認知症への対応力が求められています。同時に、倫理的な配慮が必要になっています。5月に「身体抑制しないキャンペーン」に取り組むとともに、学習会を開催しました。また、職員向けの「認知症サポーター養成講座」や「認知症学習会」を連続して開催してきました。10月には、講師に蓮田よつば病院の認知症看護認定看護師の井上和子看護師を迎えて認知症学習会を開催しました。

10月に「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の学習会を開催しました。ACPとは、将来、意思決定能力がなくなった時に備えて、あらかじめ自分が大切にしていること、治療や医療に関する意向、代理意思決定者などについて専門職者と話し合うプロセスのことと学びました。

(9) 感染対策の取り組み

毎年恒例の手指衛生 AWARD・キックオフ集会（6月）に、下越病院（新潟）の市川高夫医師を講師に迎え「WHOの多様な手指衛生改善戦略」をもとに、手指衛生の最新の知見、薬剤耐性菌対策、医療従事者の手指や個人防護具が交差感染の原因になることを分かりやすくご指導いただきました。10月には福岡県にある健和会大手町病院の感染症内科山口征啓医師を講師に迎え「CREの基礎知識と感染対策の基本」というテーマで感染症の学習会を開催しました。

本年度の感染防止対策地域合同カンファレンスでは、これまで病院ごとに取り組まれていた細菌の薬剤感受性試験データを、この地域で集約し、それぞれの菌種で抗菌薬の耐性や感受性の割合を表にした「地域アンチバイオグラム」の作成に初めて取り組んだ状況について交流しました。

3月は、亀田総合病院感染症科の細川直登医師を講師に感染症ケースカンファレンスを開催しました。初期研修医を中心に「感染症に関する基本

的な診断・治療の考え方」を学ぶ機会となりました。

(10) 子育て支援の取り組み

7月の体験保育に4組の親子が参加しました。院内保育所のつくし保育所では地域の親子を対象に庭を開放する日を設けています。保育所の子どもたちと一緒に屋外で思いっきり遊んだり、給食を一緒に食べています。また、育児相談も行っています。

子育て支援の取り組みとして、毎年、子育て教室、つくし保育所の子育て交流会に取り組んでいます。今年の子育て講座は元帝京大学教授で保育専門家の清水玲子氏をお招きし「子育てで大切にしたいこと」というテーマで、子どもの発達や心の変化、またその年齢に応じた向き合い方など、いろいろお話しいただきました。

また、夏休み公開講座「命の授業」に15組の親子が参加しました。妊娠から出産までの仕組みを子どもにもわかりやすく模型を使うなどして助産師がお話ししました。模型を使った赤ちゃん抱っこ体験や妊婦体験など、子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。

一方で、11月は小児虐待防止推進月間ということでもあり、小児虐待学習会を開催しました。「子ども予防接種週間（3月1日～7日）」にあわせて日曜日に予防接種に取り組みました。

(11) 平和、憲法を守り核兵器をなくす取り組み

埼玉協同病院初代院長の肥田舜太郎医師（2017年3月20日没 享年100歳）の「没後1年パネル展」を開催しました。肥田医師の功績を紹介するパネルとともに「原水爆禁止世界大会」「反核医師の会」「埼玉協同病院9条の会」の取り組み等を紹介し、あわせて署名のご協力を呼びかけました。被爆者医療と核兵器廃絶のために尽力された肥田医師の遺志を継ぐ取り組みとして、5月1日には、埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）副会長の木内恭子氏（埼玉協同病院で看護師をされていた

した)を講師に迎え「医療職が考えなければなら
ないいのちの重み〜これからの医療職に伝えたい
メッセージ」と題する平和講演に学びました。今
年の原水爆禁止世界大会広島(8月4日〜6日)
には、埼玉協同病院から研修医2名ら11名の職
員が参加しました。

また、11月には佐渡島啓弁護士(埼玉総合法律
事務所)を講師に憲法カフェを開催したり、ビキ
ニ環礁での水爆被災から65年という節目に開催
された3・1ビキニデーに、当院からは事務職員
と看護職員が参加しました。

(12) 2018 年度に始めた新たな取り組み

4月に病院に関係する企業・業者の方に集まっ
ていただき、面談等に関わる院内対応ルールの説
明会を開催しました。企業等の営業活動と医療従
事者との関係において、社会的に公正性、透明性
の確保が求められているところから、あらためて
病院として制定した面談等に関わる院内対応ル
ールを説明し、協力をお願いしました。

6月から医療安全相互評価カンファレンスを始
めました。近隣の2つの医療機関と相互に訪問し、
医療安全の取り組みを見させていただくことで地
域の医療安全のレベルアップを図る取り組みです。

11月1日から病院の新しいバスコース(根岸・
道合・神戸)の運行をスタートさせました。

1月よりがん看護外来をスタートしました。が
んの患者・家族の皆さんに、治療の選択や不安、
生活のことなど、がんに関する相談にその分野の
認定看護師が対応します。

2月23日には、埼玉協同病院単独では初めて
の企画となる医療活動交流集会を開催しました。
各委員会、チーム、部門が行った取り組みを職種
や役割に関わりなく共有し、院内全体に水平展開
したり、次年度の医療活動や個人目標のヒントを
得ることを目的に開催しました。

3月に手術室の増室工事が完了し、医療機器な
どを搬入し6室目が稼働しました。

(13) 2018 年度の決算結果

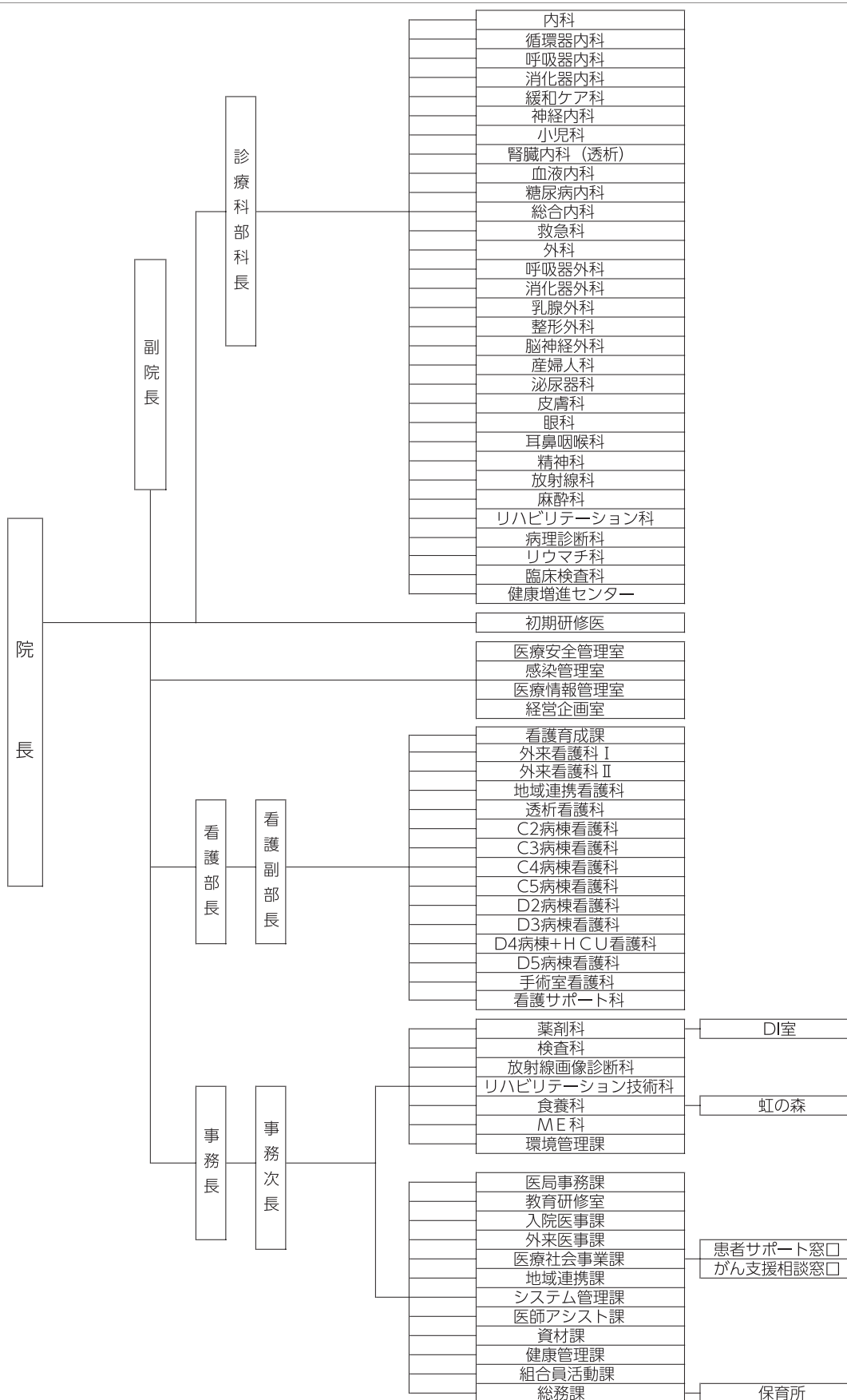
予算を7,700万円上回る1億1,200万円の経
常剰余(黒字)を確保することができました。入
院、外来、健診ほか収益各項目で前年を大きく上
回ることができました。その結果、事業収益全体
で前年比7億7千万円の増収となり、初めて100
億円を超える事業高となりました。費用も前年比
5億2千万円増加しましたが、増収増益です。昨
年度が1億を超える経常赤字でしたので、挽回す
ることができました。

2018年度 主要行事

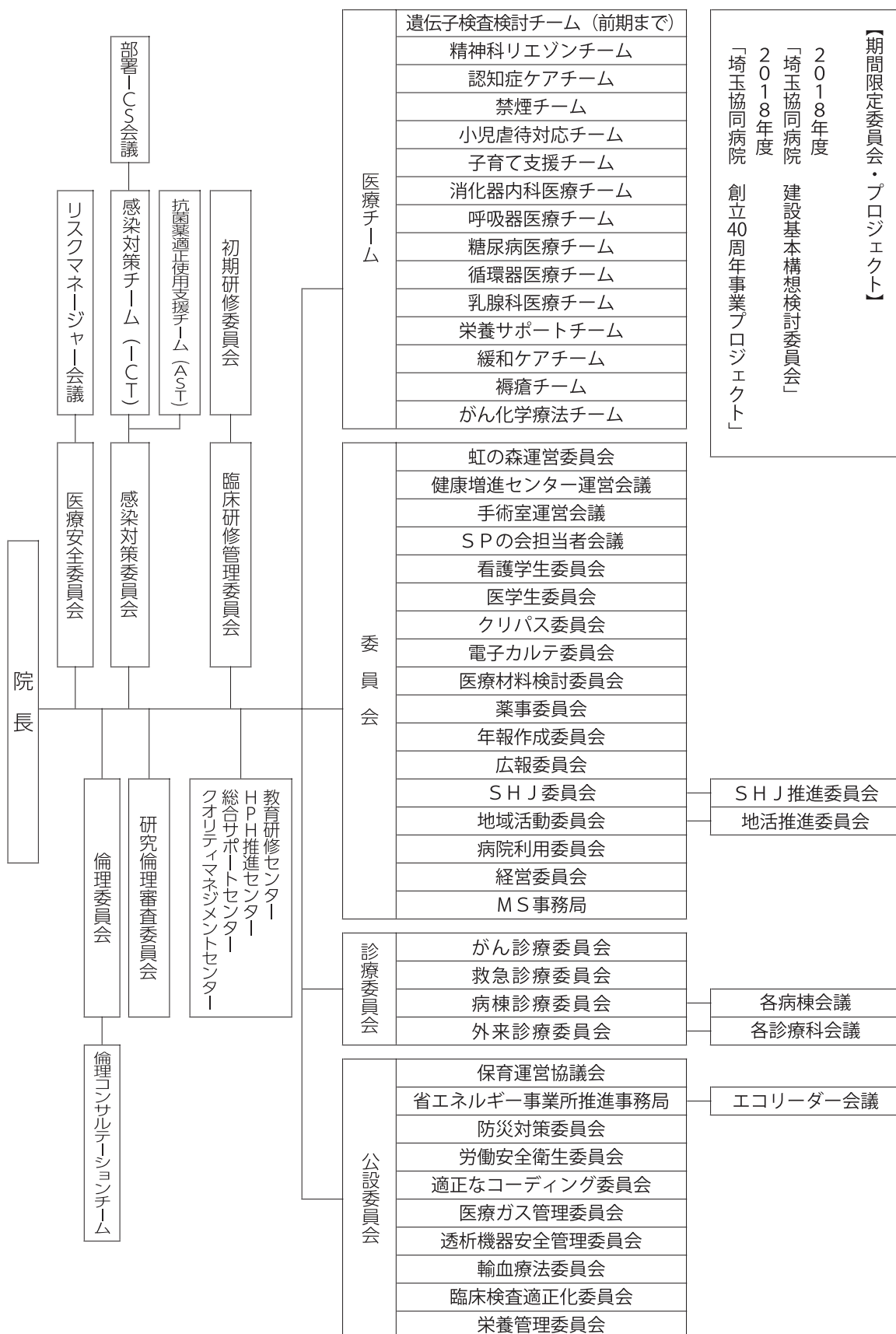
月	日	行 事	月	日	行 事
4月	4日	新入職員オリエンテーション	8月	20日	駅前健康相談
	8日	かわぐちこまりごと相談所		25日	子ども保健教室（28日）
	10日	WHO世界保健デー		29日	手遅れ死亡事例調査記者会見
	22日	ウォークフェスタ		31日	脳いきいきインストラクター交流会
5月	1日	メーデー集会	9月	5日	献血
	22日	川口市健康づくり懇談会		6日	「E B Mは日常の疑問から～質改善に向けた指導ができる上司になる～」学習会
	29日	WHO世界禁煙デー			障害者雇用に関する学習会
6月	9日	I C L S 講習会		8日	I C L S 講習会
	10日	J M E C C		11日	川口市保健所 立入検査
	19日	子育てカフェ		13日	「構造化のヒント」学習会
	22日	片山医師総合内科カンファレンス		15日	看護模擬面接
	23日	法人通常総代会		19日	前期総合防災訓練
	30日	市民公開講座「関節痛」		20日	西日本被災地支援報告会
7月	1日	「サマー増資月間スタートキャンペーン」		22日	埼玉県企画「高校生の志」事業：医師体験企画
	12日	メンタルヘルス学習会「管理者のカウンセリング活用術」		27日	お元気ですか訪問＆なんでも相談会（～29日）
	19日	第一四半期経営検討会	10月	5日	C R E 学習会
	21日	癒しのイベント		6日	高校生模擬面接会
	23日	第1回マネジメントレビュー 高校生看護体験（30日）		14日	神根道合町会防災訓練 健康フェスタ
	24日	職員フレイルサポーター養成講座 （31日）		16日	I S O維持審査（～17日）
	28日	法人マネジメントレビュー		17日	H P Hフレイルチェックサポーター養成講座
8月	1日	職員フレイルサポーター養成講座 （9日）		20日	市民公開講座（呼吸器チーム）
	3日	高校生模擬面接 倫理学習会		22日	第2回マネジメントレビュー
	6日	高校生看護体験（9日、16日、 20日、23日）		27日	市民公開講座（認知症ケアチーム）
	16日	高校生薬剤師体験	11月	1日	「教育設計」学習会

月	日	行 事	月	日	行 事
11 月	3 日	埼玉協同病院 40 周年記念健康まつり	16 日		市民公開講座(認知症ケアチーム) 医学部合格お祝い会
	8 日	川口市まちづくり懇談会	18 日		第 3 回マネジメントレビュー
	12 日	消防署立入調査	20 日		初期研修医研修修了発表会
	16 日	片山充哉医師病棟回診&カンファレンス	22 日		細川直登医師感染症カンファレンス
	18 日	全館停電	23 日		埼玉民医連大会
	20 日	手指衛生 A W A R D 報告会 埼玉県 無料低額診療立入調査	29 日		高校生看護体験
	22 日	高齢者にやさしいまちづくり懇談会			
	26 日	院内売店リニューアル			
	28 日	憲法カフェ			
	29 日	再就業技術講習会			
12 月	8 日	I C L S 講習会			
	15 日	高校生模擬面接会(医師)			
	16 日	埼玉民医連 学術・運動交流集会			
	28 日	忘年会			
1 月	22 日	卒後 1 年目看護職員他部門研修			
	26 日	法人マネジメントレビュー			
	27 日	外国人医療相談会			
	30 日	後期総合防災訓練			
2 月	2 日	支部医療懇談会(8 日、14 日、 21 日、27 日)			
	16 日	トリアージ訓練			
	22 日	片山充哉医師総合内科回診&カンファレンス			
	23 日	第 1 回医療活動交流集会			
	24 日	埼玉民医連 看護学会			
3 月	1 日	献血			
	9 日	I C L S 講習会			
	14 日	予算検討会			

5. 組織図



6. 委員会等組織図



7. 施設基準

基本診療の施設基準

一般病棟入院基本料（急性期一般入院料Ⅰ）
 ハイケアユニット入院医療管理料Ⅰ
 回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅲ
 緩和ケア病棟入院料Ⅰ
 入院時食療養〈Ⅰ〉
 診療録管理体制加算Ⅰ
 医師事務作業補助体制加算Ⅱ 15 対Ⅰ
 急性期看護補助体制加算 25 対Ⅰ 5 割以上
 夜間急性期看護補助加算 100 対Ⅰ
 夜間看護補助体制加算
 看護職員夜間配置加算 16 対Ⅰ
 療養環境加算
 重症者等療養病棟療養環境特別加算
 栄養サポートチーム加算
 医療安全対策加算Ⅰ
 患者サポート体制充実加算
 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 ハイリスク妊娠管理加算
 ハイリスク分娩管理加算
 総合評価加算
 呼吸器ケアチーム加算
 後発医薬品使用体制加算Ⅰ
 病棟薬剤業務実施加算Ⅰ
 データ加算Ⅱ
 入退院支援加算Ⅰ
 認知症ケア加算Ⅱ

特掲診療の施設基準

糖尿病合併症管理料
 がん性疼痛緩和指導管理料
 がん患者指導管理料Ⅰ・Ⅱ
 糖尿病透析予防指導管理料
 乳腺炎重症化予防ケア指導料

院内トリアージ実施料
 救急搬送看護体制加算
 ニコチン依存症管理料
 療養・就労両立支援指導料
 開放型病院共同指導料
 地域連携診療計画退院時指導料
 肝炎インターフェロン治療計画料
 ハイリスク妊産婦連携指導料Ⅰ
 ハイリスク妊産婦連携指導料Ⅱ
 薬剤管理指導料
 医療機器安全管理料Ⅰ
 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者
 訪問看護・指導料
 遠隔モニタリング（持続腸圧呼吸療法指導料）
 HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェ
 ノタイプ判定）
 検体検査管理加算（Ⅰ）
 検体検査管理加算（Ⅱ）
 時間内歩行試験およびシャトルウォーキングテ
 スト
 皮下連続式グルコース測定
 コンタクトレンズ検査料Ⅰ
 小児食物アレルギー負荷検査
 センチネルリンパ節生検（片側）
 画像診断管理料Ⅰ
 画像診断管理料Ⅱ
 遠隔画像診断
 CT撮影及びMRI撮影
 冠動脈CT撮影加算
 心臓MRI撮影加算
 乳房MRI撮影加算
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算Ⅰ
 無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅰ)
運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)
呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)
がん患者リハビリテーション料
精神科デイケア「小規模なもの」
精神科ショートケア「小規模なもの」
人工腎臓 (慢性維持透析Ⅰ)
導入期加算Ⅰ
透析液水質確保加算及び慢性維持透析ろ過加算
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
骨移植術 (自家培養軟骨移植術に限る)
乳腺悪性腫瘍手術 (乳がんセンチネルリンパ節
加算Ⅰ)
穿婁閉鎖術等 (内視鏡によるもの)
ペースメーカー移植術・交換術
大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)
体外衝撃波胆石破碎術
腹腔鏡下肝切除術
体外衝撃波膵石破碎術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
胃婁造影術
輸血管理料Ⅱ
輸血適正使用加算
貯血式自己輸血管理体制加算
人工肛門、人工膀胱造設術前処置加算
麻酔管理料Ⅰ
麻酔管理料Ⅱ

8. 教育研修指定関係

括弧内は認定日

1. 日本内科学会認定制度教育病院（1992.04.01）
2. 日本小児科学会専門医研修施設（2003.10.01）
3. 日本皮膚科学会認定専門医研修施設（1993.04.01）
4. 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設（2006.04.01）
5. 日本外科学会専門医制度修練施設（1988.01.01）
6. 日本整形外科学会研修認定施設（1989.11.07）
7. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設（1997.04.01）
8. 日本病理学会研修登録施設（1996.04.01）
9. 日本リハビリテーション医学会研修施設（2005.09.10）
10. 日本糖尿病学会認定教育施設（2000.11.27）
11. 日本リウマチ学会教育施設（2010.09.01）
12. 日本消化器内視鏡学会指導施設（2006.12.01）
13. 日本臨床細胞学会認定施設（2003.09.30）
14. 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設（2000.12.01）
15. 日本家庭医療学会後期研修プログラム認定（2009.04.01）
16. 日本がん治療認定医機構認定研修施設（2010.11.01）
17. 日本胆道学会指導施設（2014.04.01）
18. 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設（2015.04.01）
19. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院（2014.04.01）
20. 日本消化器病学会認定施設（2016.01.01）
21. 日本呼吸器学会認定施設（2016.12.09）
22. 日本脳卒中学会研修教育病院（2018.01.01）
23. 呼吸器外科学会呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度関連施設（2010.04.01）
24. 日本透析医学会専門医制度教育関連施設（2010.11.26）
25. 日本乳癌学会認定医専門医制度 関連施設（2013.01.01）
26. 日本消化器外科学会専門医制度関連施設（2013.04.01）
27. 日本肝臓学会専門医制度関連施設（2014.04.01）
28. 日本小児神経学会小児神経専門医研修関連施設（2014.10.05）
29. 認定輸血検査技師制度指定施設（2012.4.1）
30. 日本循環器学会認定循環器専門医関連施設（2017.04.01）
31. 日本手外科学会関連施設（2016.07.01）
32. 日本在宅医学会認定専門医制度研修施設（2011.04.01）

9. 院内研修会・講演会

日付	テーマ	主催者	講師	参加人数
2018/01/15、16	疾患の理解と検査の基本⑧血ガスのデータ	キャリ 2 委員会	村上純子医師	18
2018/01/15、02/15、 16、03/22、08/13、09 /14、10/16、11/8、12/11	認知症サポーター養成講座	認知症ケアチーム	綿貫介護士、 木村看護師	129
2018/01/17	患者・利用者の自損行為に対するリスク管理と知識	法人医療介護安全委員会	荻野マリ工医師、他	25
2018/01/17、23、 24、31、02/1、2、 6、7	「冬期に流行する感染症」	感染対策委員会	I C T	221
2018/01/19	「2018年診療報酬改定を前にして、一般急性期病 床の今後の運営をどう考えるか」	県連経営委員会	井上貴裕氏(千葉大学 付属病院病院長企画室)	2
2018/01/19	CADDについて	C 4	ME	3
2018/01/23	防災訓練 学習会・事前説明会	防災対策委員会	防災対策委員会	1
2018/01/24	後期総合防災訓練	防災対策委員会	防災対策委員会	33
2018/01/31	リハビリ栄養について	リハビリテーション技術科		40
2018/02/05、6	安全運転学習会	環境管理課	埼玉レンタリース 藤村氏	9
2018/02/06	認知症 学習会	認知症ケアチーム	中村薬剤師、上田 MSW、斎藤 S T	14
2018/02/09	メンタルヘルスとハラスメントの視点からとらえた 若年者の最近の傾向と育成指導の留意点	看護部 教育センター	林 久美子氏(埼玉 協同病院産業カウン セラー)	71
2018/02/14、15、 16、19、20、21、3/12	【看護部】感染対策の基本Ⅱ「細菌検査・抗菌薬 編」	感染対策委員会	I C T	128
2018/02/15	吸入薬の使い方	呼吸器チーム会議	薬剤科 牧野	9
2018/02/15	第11回 医療の質改善(Q I) 交流会	クオリティマネジメント センター		45
2018/02/16、19	【看護部】感染対策の基本Ⅴ「標準予防策」	感染対策委員会	I C T	37
2018/02/19	感染対策の基本Ⅵ「当院の細菌検査について」 ～新機種導入に伴う変更点と今後の予定～	感染対策委員会	相原雅子(細菌検査 室)	22
2018/02/22	障害者施設へ入所されていた方を、在宅復帰につ なげた症例	症例検討チーム	秩父生協病院	26
2018/02/26	大腸がん術後補助化学療法のレジメン選択	化学療法チーム	砂川 優	25
2018/02/27	透析室スタッフの防災訓練	透析看護科 新井	新井(透析看護 科)、菅(ME科)	8
2018/02/27	輸血基礎	輸血療法委員会	斉藤今日子(手術 室)	1
2018/02/28	感染対策	リハビリテーション技術 科	吉田看護師(感染対 策室)	46
2018/02/28	血管外漏出時のアセスメント	がん化学療法チーム	内川聡美	11

日付	テーマ	主催者	講師	参加人数
2018/03/02	輸血学習会（自己血編）	輸血療法委員会	木村秀実	9
2018/03/05	これからの日々 お別れのとき	緩和ケアチーム	有田圭介	34
2018/03/13	D-FAS回路の変更に伴う学習会（ME科向け）	ME科 菅、熊谷	菅（ME科）	8
2018/03/13	D-FAS回路の変更に伴う学習会（透析看護科向け）	ME科 菅	菅、熊谷（ME科）	7
2018/03/13、19、20	感染対策の基本Ⅷ「標準予防策」	感染対策委員会	ICT	39
2018/03/14、16	感染対策の基本Ⅱ「細菌検査・抗菌薬 編」	感染対策委員会	ICT	14
2018/03/19	2017年度第3回マネージメントレビュー	管理部		109
2018/03/2、09/6、25、28、10/29	睡眠薬について	薬剤科	薬剤科	47
2018/03/20	「人を育てること、教えることとは（基礎編） ～教育的なかかわりの本質を考える～」	埼玉協同病院 看護部・ 看護教育センター会議	目黒 悟氏	68
2018/03/22	免疫チェックポイント阻害薬について	がん化学療法チーム	内川聡美	13
2018/03/23	ベッドサイドでの輸血Q & A C3病棟		木村秀実	11
2018/03/26	難民についての学習会	総合サポートセンター	鶴木氏 （難民支援協会）	1
2018/03/27	血液型検査の異常反応	小島史子	小林真弓	16
2018/03/28	ヘリオスの使用方法	リハビリテーション科	南 優花	39
2018/03/28	私たちが作るこれからの埼玉協同病院			35
2018/04/01	医療安全の基礎知識	医療安全委員会		70
2018/04/01	医療事故と法的責任	医療安全委員会		73
2018/04/07	新入医師オリエンテーション（医療安全）	医療安全委員会	宮崎専従医療安全管理者	7
2018/04/09	RO装置の取り扱いとトラブル対応について	ME科 岡本雪子	JWS	8
2018/04/10	技術職新入職員向け保険診療学習会	外来医事課 桑田真央	桑田真央 （外来医事課）	13
2018/04/12	術後疼痛管理について		春日みさき医師	7
2018/04/26、05/14、18、29	書記会議	QMセンター	増永事務長、貞弘事務次長、桑田課長	86
2018/05/08	ハミルトン T1 取り扱い学習会	ME科 岡本雪子	日本光電	9
2018/05/08	TORAYMYXIN、HEMOFEEL CHの特性について	ME科 岡本雪子	東レ	9
2018/05/08	透析液供給装置、コンソールの取り扱いとトラブル対応について	ME科 岡本雪子	日機装	7
2018/05/11	身体抑制しないキャンペーン	認知症ケアチーム	荻野医師、大竹副部長、村田看護師	67
2018/05/16、06/15	耳鼻科硬性鏡取り扱い学習会	ME科	オリンパス 出口氏	25
2018/05/17	モニター取扱い学習会	青木奎介	日本光電 山本氏	2
2018/05/18	関節治療センター学習会	整形外科	整形外科副部長 桑沢綾乃医師	48

日付	テーマ	主催者	講師	参加人数
2018/05/21	敗血症に対する血液浄化療法学習会	熊谷 大樹	東レメディカル	11
2018/05/23	KYT (危険予知トレーニング)	リハビリテーション技術科	水野敏宏	43
2018/05/23	手術室看護師向け医療機器オリエンテーション	ME 科	藤本政幸	4
2018/05/24	サポートさん向け酸素ボンベの取り扱い		吉田	18
2018/05/3、31、06/1	新任 RM 事例分析講習会 (前半)	医療安全委員会	宮崎俊子	24
2018/05/31	モニター用送信機 ZS-640P使用方法学習会	ME 科	藤本政幸	12
2018/06/06、8、11、15	新任 RM 事例分析講習会 (後半)	医療安全委員会	宮崎俊子	22
2018/06/07	2018年6月度 内部監査オープニング会議	MS 事務局		46
2018/06/12	フォルテオ勉強会		清水 (薬剤科)	5
2018/06/12	部門 RM 研修	医療安全委員会	宮崎俊子	1
2018/06/14	「高齢者リンパ腫における FN マネジメント」 ～Webセミナー～	がん化学療法チーム	三浦勝浩	8
2018/06/15	車椅子センサー学習会	ME 科	桐生宣侑	14
2018/06/18	抗菌薬適正使用について	感染対策委員会	抗菌薬適正使用支援 チーム	45
2018/06/19、27	感染対策の基本	感染対策委員会	吉田智恵子	62
2018/06/21	A40学習会	ME 科	フィリップスレスピ ロニクス	10
2018/06/28	高齢者の悪性リンパ腫	がん化学療法チーム	三浦医師	7
2018/06/29、07/9、12、13、 17、19、20、24、25、26、27、09/6	手指衛生	感染対策委員会・感染対 策チーム	市川高夫医師 (下越病院)	366
2018/07/02	胃がん がん化学療法	がん化学療法チーム	砂川医師	17
2018/07/03	ペースメーカー患者の手術・検査前後の流れの確認	ME 科	藤本	13
2018/07/03	新任臨地実習指導者の役割と実際	若林美里	若林美里	9
2018/07/04	セラビーム取り扱い・トラブル対応学習会	ME 科 岡本雪子	ウシオ電機	5
2018/07/05	2018年6月度 内部監査クロージング会議	MS 事務局		45
2018/07/06	「院内の自殺対策指針」を学習する	医療安全委員会		816
2018/07/09	「院内の自殺対策指針」を学習する	医療安全委員会	荻野マリエ医師	27
2018/07/11	呼吸器における換気モードとグラフィックについて	ME 科	藤本	6
2018/07/11、11/16	内視鏡スコープの洗浄	外来 I、ME 科	篠塚	12
2018/07/19	2018年度第 1 四半期経営検討会議	糸田真央		54
2018/07/19	DPC7 対 1 病院における『断らない医療の実践』 について	看護部	須田倫子法人看護部 長 (北海道勤医協)	45
2018/07/20、09/12、 10/17、11/21、	BLS 学習会	救急診療委員会		90

日付	テーマ	主催者	講師	参加人数
2018/07/23	2018年度 第1回マネージメントレビュー			119
2018/07/23	乳がん基礎知識、手術期看護とリンパ浮腫予防、リハビリテーションについて	乳腺科医療チーム	小平 (Ns)、菊池 (リハビリ)	21
2018/07/25	急変時の対応について		水野敏宏	43
2018/08/02	研究に関する学習会			1
2018/08/03	①著作資格・著作権学習 (講義のみ60分)	埼玉協同病院倫理委員会	佐渡島弁護士	12
2018/08/07、10、21、23、24、27、29、09/4、5、7、10、14、18、20、21、27	薬剤耐性 (AMR) 対策①	感染対策委員会	ICT・ASTメンバー	201
2018/08/14	透析スタッフ向け学習会	ME科 菅 隆太	ME科 透析担当者	7
2018/08/16、09/7、10、11、14、18、21、26、27、28、10/1、3、5、15、19、24、29、30、31	チームSTEPPSグループワーク	医療安全委員会	宮崎俊子、他	
2018/08/17	脳卒中片麻痺患者に対する治療の考え方と実技	OT研修会	作業療法士 三宅健司	13
2018/08/22	「著作資格・著作権について学び適切に取り扱うために」		木村圭一	40
2018/08/22	夏の節電対策		西川寛朗	40
2018/08/22	平和学習会 (原水禁参加報告)		中島ちひろ	39
2018/08/22、29、30	静脈採血の基礎	検査適正化委員会	池田征史	14
2018/08/27	TKAのリハビリテーション基礎知識①	大鹿成美	剣山 大	11
2018/08/30、31	人工呼吸器とBIPAPの立ち上げ方法の学習会	ME科	藤本政幸	30
2018/09/04、5	エクセル学習会	教育研修センター	システム 飯塚一成	9
2018/09/06	E BMIは日常の疑問から～質改善に向けた指導ができる上司になる～	教育研修センター	松村憲浩医師	22
2018/09/10、13	人工呼吸器の立ち上げ方法と基本的な操作	ME科	南 優花	12
2018/09/11	統計学講座演習コースについて	地域社会と健康研究所、教育研修センター	坂井博通氏 (埼玉県立大学保健医療福祉学部長)	6
2018/09/11、19、10/11	ハミルトンC1取り扱いについて	ME科	日本光電	37
2018/09/12	D5症例検討会 「生活保護について」	D5病棟症例検討チーム	MSW 近藤喜美子	32
2018/09/13	研究に関する学習会 (統計手法について)	戸次有希	戸次有希	1
2018/09/18	防災学習・訓練説明会	防災対策委員会		26
2018/09/19	PVM透視室向け学習会	ME科	桐生宣侑	9
2018/09/19	前期総合防災訓練	防災対策委員会		2
2018/09/19、26、27、10/31	できる！抗がん剤の曝露対策	がん化学療法チーム	内川聡美	38
2018/09/21	ハイサンソポータブルについて	外来看護科Ⅱ		9

日付	テーマ	主催者	講師	参加人数
2018/09/25	B i P A P 取り扱い学習会	ME 科	桐生宣侑	8
2018/09/25	ハミルトン C 1 取り扱いについて	ME 科	日本光電	11
2018/09/25	ポジショニング～臥位・座位での基本のポジショニングについて～	リハビリテーション技術科	リハビリ (理学療法士) 加治	19
2018/09/26	S A S とは、解析結果の見かた	ME 科	フクダライフテック 石井氏	10
2018/09/26	嘔吐時の対応について		剣山 大	39
2018/09/28	B i P A P の使用方法	ME 科	藤本政幸	6
2018/09/28	お元気ですか訪問＆なんでも相談会	H P H 事務局		3
2018/09/28、10/4	ソニックビート取り扱い	青木奎介	出口氏 (メーカー)	6
2018/10/03	認知症学習会	認知症ケアチーム	井上和子氏 (蓮田よつば病院 認知症看護認定看護師)	54
2018/10/04	ハミルトン使用方法	ME 科	桐生宣侑	6
2018/10/05、12/10、11、12、14、18、20、21、	C R E の基礎知識と感染対策の基本		山口征啓医師 (健和会大手町病院 感染症内科)	269
2018/10/09	エコー下穿刺について	ME 科 熊谷 大樹	熊谷、大樹 (ME 科)	9
2018/10/18	2018 年度上半期経営検討会	桑田		39
2018/10/19	C V ポート管理	がん化学療法チーム	東レメディカル 海老根氏	11
2018/10/22	第 2 回 マネジメントレビュー			116
2018/10/24	B L S			32
2018/10/24	人工呼吸器患者の管理について	呼吸器チーム	原澤医師	1
2018/10/25	A C P (アドバンスケアプランニング)	総合サポートセンター	稲村充則医師	31
2018/10/31	苦情対応ワークショップ	法人医療介護安全委員会	SOMPO リスクマネジメント社 医療介護コンサルティング部 山崎堅司氏	23
2018/11/01	「インストラクショナルデザイン (教育設計) 」	教育研修センター	山田歩美医師	27
2018/11/05	オプジーボ	がん化学療法チーム	内川聡美	8
2018/11/07	精度管理について	検査科	シノテスト 鬼形俊輝氏	10
2018/11/09	研修医向け H O T 学習会	S K Y M E T / M E 科	藤本政幸	10
2018/11/12	ベルケイドの副作用 曝露対策	薬剤科	森口秀美 内川聡美	17
2018/11/13	リハビリスタッフ向け呼吸器学習会	ME 科	藤本政幸	13
2018/11/13、19	新規導入エコー学習会	ME 科	フジフィルムメディカル	48
2018/11/14	チーム S T E P P S ミニ グループワーク	医療安全委員	医療安全委員メンバー	343

日付	テーマ	主催者	講師	参加人数
2018/11/15	観血的血圧モニタリング	ME科	吉田	13
2018/11/16	メタリックヤーン 作業分析	作業療法士職種部会	清水OTR、 藤原OTR	13
2018/11/19	高齢者意思決定支援について	症例検討チーム	稲村医師	39
2018/11/20	手指衛生AWARD報告会	感染対策委員会・感染対策チーム	感染対策委員会	91
2018/11/20	深部静脈血栓症の予防	看護部	アルケア業者	11
2018/11/21	アストラル学習会	ME科	フクダライフテック	38
2018/11/21	小児の虐待について	小児虐待対策チーム	小児虐待対策チーム	23
2018/11/27	HOT学習会	ME科	藤本政幸	11
2018/11/28	HPHとSDHについて	リハビリテーション技術科	樋口麻里	38
2018/11/28	接遇	リハビリテーション技術科	木村圭一	41
2018/11/29	気管カニューレの種類や使用上の注意点	RSTチーム Ns寺門		24
2018/11/29	防災対策学習会	ME科	桐生宣侑	16
2018/12/04	排痰補助装置学習会	ME科	チェスト	13
2018/12/10	BLS	リハビリ		34
2018/12/11	術中自己血回収装置	ME科 吉田幸司	アコマ医科器械	9
2018/12/14	統合失調症について	精神科リエゾンチーム	荻野マリエ医師、水谷麗子（作業療法士）	24
2018/12/19	内服薬の用法に関する学習		関根彩乃（薬剤科）	8
2018/12/19	尿沈渣形態の基本	検査科 緊急検査室	シスメックス	12
2018/12/21	弾性包帯の正しい使用方法	江畑	アルケア	8
2018/12/29	手術室での防災学習会	ME科	桐生宣侑	21

10. 2018 年度初期研修医の状況

1. スタッフ

2017 年 4 月入職

井上智友記 (東海大学卒)
 入江直子 (札幌医科大学卒)
 春日みさき (佐賀大学卒)
 甲田昌紀 (島根大学卒)
 田中小百合 (秋田大学卒)
 西野直人 (佐賀大学卒)
 村本耀一 (筑波大学卒)

2018 年 4 月入職

遠藤聖英 (日本大学卒)
 大和田舞 (旭川医科大学卒)
 開原英範 (帝京大学卒)
 福田友樹 (群馬大学卒)
 村田俊介 (筑波大学卒)
 山崎駿気 (新潟大学卒)
 山本茂輝 (順天堂大学卒)

2. 研修ローテーション

2018 年 4 月～2019 年 3 月 ローテート

◆1 年目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
遠藤 聖英	D 4	D 4	D 4	D 4	C 2	C 2	外科	外科	C 5	救急	整形	D 4
大和田 舞	D 4	D 4	D 4	D 4	C 5	C 5	救急	C 2	C 2	精神科	外科	外科
開原 英範	C 2	C 2	C 2	C 2	D 4	D 4	C 5	C 5	救急	産婦	精神科	外科
福田 友樹	C 5	C 5	C 5	C 5	D 4	D 4	小児	小児	C 2	C 2	救急	麻酔
村田 俊介	C 5	C 5	C 5	C 5	D 4	D 4	C 2	C 2	精神科	救急	C 5	C 5
山崎 駿気	D 4	D 4	D 4	D 4	C 2	C 2	C 5	C 5	救急	小児	小児	地域 (熊谷)
山本 茂輝	C 2	C 2	C 2	C 2	C 5	C 5	救急	精神科	D 4	D 4 (皮膚科)	D 4	救急

◆2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
井上智友記	麻酔	救急	救急	外科	外科	産婦	救急	小児	小児	整形	地域(熊谷)	整形(皮膚科)
入江 直子	外科	外科	外科	麻酔	麻酔	救急	救急(皮膚科)	地域(熊谷)	小児	小児	C 2	C 2
春日みさき	産婦	C 5	C 5	地域(熊谷)	地域(大井)	麻酔	麻酔	外科	外科	救急	救急	救急
甲田 昌紀	救急	D 5	D 5	小児	小児	外科	外科	救急	救急(皮膚科)	救急	産婦	精神科
田中小百合	小児	小児	救急	救急	精神科	地域(大井)	産婦	産婦	麻酔	外科	外科	救急
西野 直人	外科	D 4	整形	救急	救急	小児	小児	整形	地域(熊谷)	麻酔	麻酔	産婦
村本 耀一	精神科	C 2	C 2	産婦	地域(熊谷)	救急	救急	麻酔	外科	外科	小児	小児

◆他病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
産婦(東葛)												
産婦(長野)					上原(2年目)				遠藤(1年目)			
産婦(船橋二和)							長田(2年目)※2週間			堀坂(2年目)※2週間		
産婦(メディカル)						伴(2年目)		工藤(2年目)※2週間				

3. 院内での研修／学習会への参加

1) レジデントカンファレンス（偶数週金曜日 17：30～18：30）

初期研修に関する意見交換や初期研修委員会への要望提出、各種学習会の開催を主な目的として、初期研修医 14 名でカンファレンスを隔週で開催しました。学習会の開催にあたっては、初期研修医間での学習会はもとより、指導医や他職種にも幅広く依頼をかけ、日々の診療に必要な知識・技能の習得に取り組みました。

指導医による学習会：山田医師「告知について（がん告知・胃瘻告知・DNARについて）」

守谷医師「輸液について」

金子史医師「不整脈の初期対応について」

山田医師「一次予防について」

他職種による学習会：食養科「各食種の違いについて」

リハビリ科「呼吸器疾患のリハビリについて」

外来医事課「保険診療について（病名・汎用）」

地域連携看護科「褥瘡について」

MSW「施設の種類・区分について」

薬剤科「外用薬について」

ME科「BiPAPについて」、「在宅酸素について」

2) 青年医師の会 (第 3 水曜日 17:30 ~ 19:00)

10 年目以下の医師を対象としている青年医師の会へ初期研修医も参加し、種々の学習会へ積極的に参加することで知識・技能の向上を図りました。

また、2018 年度は歯科医師と一緒に活動を行いました。

主な学習内容:

「往診手順と機材確認、義歯の管理の仕方、子どもの歯の成長と磨き方」

「臨床診断、救急対応」

「周術期の口腔介入について手順 B P 製剤使用患者が骨壊死をうけ B P 製剤に対する効果、歯科往診の需要 (介入タイミング、治療優先度、希望する治療程度)」 「めまいの鑑別と検査」

「皮膚病 基本のキ (湿疹、薬疹、じんましん)」

「女性の腹痛」「せん妄、不穏、内服調整」

3) 救急カンファレンス (毎週火曜日 7:00 ~ 8:00)

主に初期研修医が経験した外来症例について、様々な研修科の指導医からご意見をいただき、他の初期研修医と症例共有を行いました。

4) 各種学習会

「若手医師 web セミナー」

「片山充哉医師の病棟回診&カンファレンス (年 3 回)」

「細川直登医師の感染症ケースカンファレンス」

5) 地域活動・平和活動への参加

駅前健康相談、お元気ですか訪問、健康フェスタ、健康まつり、地域医療懇談会、支部班会講師、原水爆禁止世界大会

4. 研修修了発表会

2019 年 3 月 20 日、ふれあい会館にて、研修修了発表を行いました。